

平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年2月10日

上場会社名 株式会社イメージワン 上場取引所 東
 コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高田 康廣
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 鶴飼 良一 (TEL) 03-6233-3410
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の業績（平成26年10月1日～平成26年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	205	2.4	△69	—	△73	—	△74	—
26年9月期第1四半期	200	23.7	△87	—	△90	—	△92	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	△21.58	—
26年9月期第1四半期	△26.70	—

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。26年9月期第1四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	787	354	45.1
26年9月期	929	429	46.2

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 354百万円 26年9月期 429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,500	1.3	50	247.3	35	513.5	30	103.5	8.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期累計期間における業績予想は行っておりません。

当社の事業の特性から、第2四半期累計期間の変動幅があるため、第2四半期累計期間における業績予想の発表は控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期1Q	3,521,100株	26年9月期	3,521,100株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	74,500株	26年9月期	74,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期1Q	3,446,600株	26年9月期1Q	3,446,600株

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、26年9月期1Qの期中平均株式数（四半期累計）につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、基調的には緩やかな回復を続けております。設備投資は企業収益が改善するなかで、緩やかな増加基調にあり、公共投資も高水準で横ばい圏内の動きとなっております。個人消費は、雇用・所得環境が改善するもとで底堅く推移しており、住宅投資は、駆け込み需要の反動減が続いてきました。先行きにつきましても、海外動向等のリスク要因があるものの、緩やかな回復基調を続け、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響も収束していくとみられております。

このような経営環境において、当社は平成27年9月期の事業方針を医療画像事業の事業基盤強化に置き、ConnectioRIS^{※1}、ConnectioReport^{※2}、ConnectioMed^{※3}など商品力強化の取り組みを継続するとともに、これら商品をPACS^{※4}と連携提案することにより営業強化し、あわせて営業拠点展開の拡大を目指しております。

また、医療画像事業においては、在宅医療・介護・福祉分野への展開を開始し、衛星画像事業においては、UAV^{※5}、Pix4Dmapper^{※6}の販売に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高205百万円（前年同期比2.4%増）、営業損失69百万円（前年同期は87百万円の損失）、経常損失73百万円（同90百万円の損失）、四半期純損失は74百万円（同92百万円の損失）となりました。

（※1）ConnectioRIS：放射線部門情報システム、（※2）ConnectioReport：放射線部門レポートシステム

（※3）ConnectioMed：診療情報統合システム、（※4）PACS：医療画像保管・配信・表示システム

（※5）UAV：小型無人飛行機、（※6）Pix4Dmapper：自動オルソモザイク&3D処理ソフトウェア

セグメント別の概況は以下のとおりです。

医療画像事業

当第1四半期累計期間の医療画像事業セグメントは前期に受注したPACSの大型案件が売上計上されたこと等により、売上高186百万円（前年同期比20.2%増）、営業損失10百万円（前年同期は24百万円の損失）となりました。

九州地区営業強化のため、博多駅前に平成26年10月1日付で九州営業所を開設しました。本営業所開設による売上貢献は第2四半期からを見込んでおります。

在宅医療・介護福祉分野進出を目的として、平成26年12月12日にインターネットを通じてリアルタイムに心電図を伝送できるテレメトリー式心電計「duranta」の販売を開始しました。電池交換なしで連続7日間心電波形伝送が可能な「duranta」は、競合品の概ね40時間以内という使用限界に対して、用途の飛躍的拡大を図ることができることから、地域包括ケアなどの分野で大きな需要を見込んでおり、販売チャネルの充実に向けて取り組んでおります。

衛星画像事業

当第1四半期累計期間の衛星画像事業セグメントは売上高18百万円（前年同期比58.4%減）、営業損失6百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

前年同期は防衛省向けの大型の衛星画像売上が計上されていたため、大幅な売上減となっておりますが、UAVなどの収益寄与および経費削減等により営業損失は改善しております。引き続き、受注済みUAVの納期管理を徹底するとともに、展示会等で引合いの多い見込み顧客への営業をより強化してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、584百万円(前事業年度末比20.2%減)となりました。これは、売掛金が102百万円減少、現金及び預金が49百万円減少したこと等によります。

固定資産は、203百万円(同3.3%増)となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が17百万円増加、ソフトウェアが8百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、787百万円(同15.2%減)となりました。

(負債)

流動負債は、224百万円(前事業年度末比28.9%減)となりました。これは、買掛金が100百万円減少したこと等によります。

固定負債は、207百万円(同13.1%増)となりました。これは、長期借入金が23百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、432百万円(同13.4%減)となりました。

(純資産)

純資産合計は、354百万円(前事業年度末比17.3%減)となりました。これは、利益剰余金が74百万円減少したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期(通期)の業績予想につきましては、平成26年11月10日付「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	290,198	240,765
売掛金	379,137	277,001
商品	24,221	22,696
仕掛品	9,194	10,019
貯蔵品	780	769
前渡金	12,148	6,116
その他	16,727	27,098
貸倒引当金	△128	△95
流動資産合計	732,280	584,371
固定資産		
有形固定資産	40,656	41,344
無形固定資産		
ソフトウェア	50,171	41,817
その他	49,561	64,527
無形固定資産合計	99,732	106,345
投資その他の資産		
投資有価証券	1,762	1,762
その他	54,687	53,924
投資その他の資産合計	56,449	55,686
固定資産合計	196,838	203,377
資産合計	929,118	787,748
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,007	77,331
1年内償還予定の社債	14,200	14,200
1年内返済予定の長期借入金	38,352	54,912
未払法人税等	8,045	1,878
リース債務	1,190	772
製品保証引当金	15,966	10,304
その他	60,362	65,452
流動負債合計	316,125	224,851
固定負債		
社債	50,300	50,300
長期借入金	132,346	156,198
退職給付引当金	1,218	1,470
固定負債合計	183,864	207,968
負債合計	499,989	432,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	949,601	949,601
資本剰余金	92,599	92,599
利益剰余金	△500,953	△575,322
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	429,297	354,928
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△168	-

評価・換算差額等合計	△168	-
純資産合計	429,129	354,928
負債純資産合計	929,118	787,748

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	200,981	205,778
売上原価	169,512	148,700
売上総利益	31,469	57,077
販売費及び一般管理費	118,646	126,462
営業損失(△)	△87,177	△69,384
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	150	150
為替差益	—	463
その他	109	61
営業外収益合計	261	680
営業外費用		
支払利息	1,017	815
為替差損	688	—
支払手数料	2,092	3,202
その他	165	290
営業外費用合計	3,964	4,307
経常損失(△)	△90,880	△73,011
税引前四半期純損失(△)	△90,880	△73,011
法人税、住民税及び事業税	1,127	1,358
法人税等合計	1,127	1,358
四半期純損失(△)	△92,008	△74,369

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	155,500	45,481	200,981	—	200,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	155,500	45,481	200,981	—	200,981
セグメント損失(△)	△24,806	△14,094	△38,901	△48,275	△87,177

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△48,275千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	186,855	18,922	205,778	—	205,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	186,855	18,922	205,778	—	205,778
セグメント損失(△)	△10,778	△6,061	△16,840	△52,544	△69,384

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△52,544千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。